

研究に関するお知らせ

研究の名称：

COVID-19流行期間中に施行された電気けいれん療法患者に対する 全身麻酔管理法についての後ろ向き調査

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科では以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合は研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

国立国際医療研究センター国府台病院では、電気けいれん療法は全身麻酔のもとで施行されています。新型コロナウイルス感染流行の初期から電気けいれん療法はエアロゾルが発生しやすい処置であると認識され、国府台病院においても手術室で電気けいれん療法の処置による集団感染が発生しないよう留意して診療がおこなわれてきました。新型コロナウイルス感染流行期間中に国府台病院でなされてきた全身麻酔管理とくに呼吸管理についての工夫は、将来感染経路が飛沫やエアロゾル発生となる新たな感染症が流行する際にむけて貴重な経験の記録となると考えられます。そこで国府台病院において新型コロナウイルス感染流行の期間中に施行された電気けいれん療法の際の全身麻酔管理が病棟感染などに影響がなかったかどうかを検証いたします。

■研究期間

理事長承認日～2023年12月31日

■研究の対象となる方

2020年1月1日から2022年10月31日の期間に国立国際医療研究センター国府台病院精神科病棟に入院した方

■研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載された以下の診療情報を研究に使用させていただきます。個人情報には政府が定めた倫理指針に則り、厳重に保護した状態で利用いたします。採血など患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

- 予定された電気けいれん療法が中止となった症例について、対象者の年齢、性別、病名、電気けいれん療法が適応となった病態、対象期間中の電気けいれん療法施行回数、電気けいれん療法が中止となった理由
- 新型コロナウイルスの病棟感染経路などの解析結果に関連する情報

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性

の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反について

本研究に関する申告すべき利益相反状態はありません。

■研究責任者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター-国府台病院 麻酔科 東 俊 晴

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
所属・役職： 国府台病院麻酔科・診療科長
氏名： 東 俊 晴
電話番号： 047-372-3501（代表）
受付日時： 9:00 ～ 17:00（月曜日～金曜日）